

令和2年度

事業報告書及び決算報告書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

公益財団法人千歳青少年教育財団

目 次

令和2年度事業報告書	1
I 公益目的事業	2
◇ 教育事業	2
1 学習講座開設事業	2
2 社会教育関連事業	4
3 教育機関支援事業	5
◇ 水族館管理運営事業	6
1 水族館管理運営事業	6
2 年間パスポート会員の加入促進	14
3 情報提供活動	14
4 新型コロナウイルス感染症の対応について	15
II 役員に関する事項	17
III 職員に関する事項	18
IV 理事会・評議員会の開催状況	19
1 理事会	19
2 評議員会	20
令和2年度決算報告書	21
I 貸借対照表	23
II 正味財産増減計算書	24
III 財務諸表に対する注記	28
IV 財産目録	33
V 収支計算書	36
VI 収支計算書に対する注記	51
令和2年度監査報告書	
参考資料	

令和2年度事業報告書

令和2年度の公益財団法人千歳青少年教育財団は、千歳市及び北海道における社会教育の振興に寄与することを目的に、青少年の健全育成を図るため必要な事業を行う教育事業と、水族館施設の管理運営に関する事業を行う水族館管理運営事業から成る公益目的事業を計画に基づき実施しました。

今事業期間においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、水族館の臨時休館や各事業の縮小、中止などがありました。感染防止対策に努めながら、事業の推進に取り組んできました。

以下、各事業の概要について報告します。

『教育事業』については、千歳水族館学習事業として、水族館での「アクアリウムナイトツアー」を事業内容を縮小し、「夜の水族館探検」として実施し、またサケの生態や水生生物などに関する体験プログラムを行う「サケふるセミナー」を実施しました。

ジュニア・リーダー及びシニア・リーダー活動事業では、子ども会活動の中心的な役割を果たすジュニア・リーダー講習会やシニア・リーダーの研修会やオンライン交流会を実施しました。

また、夏休みに行われる自然教室や冬休み体験教室などの宿泊を伴う事業は中止としました。

社会教育関連事業では、千歳市子ども会育成連合会との共催事業である、緑の村キャンプ大会やちとせっ子雪あそびなどの4事業すべてを中止としました。

教育機関支援事業では、例年より大幅に減少したものの総合的な学習などに対応したサケ稚魚放流体験など多様な学習活動への協力や、学芸員講師を派遣するとともに、職業体験ではインターンシップと博物館学芸員実習の受け入れを行いました。

次に、『水族館管理運営事業』については、休業要請により4月18日から5月31日まで臨時休館となりましたが、6月からの再オープンに向け、感染拡大防止対策マニュアルを作成するとともに、「新北海道スタイル」の各種取組を実施し、感染予防の徹底を図りました。

その後も感染拡大の状況が続く中、水族館では様々な企画展示や情報媒体を利用したPR活動のほか、1月下旬のメンテナンス休館期間を開館するなど、入館者の拡大に努めましたが、総入館者数は昨年度比56.5%の145,918人となりました。

常設展示では、サケ科魚類を中心とした水槽展示や千歳川護岸利用の水中観察ゾーン、タッチプールなどの体験コーナーなど、企画展示では「夏祭り」をテーマとした夏季企画展「気分はお祭り 金魚展」のほか、多くの展示を実施しました。また、季節展示として回帰した親魚の展示やグラスツリーによる発眼卵の展示を実施しました。

体験学習及びイベントでは、バックヤードツアーやサケ稚魚放流体験のほか、季節にちなんだイベントを参加人数の制限をしながら実施しました。

次に、年間パスポート会員については、個人は目標6,300人に対し5,267人となり、目標を若干下回る結果となりましたが、法人会員は、目標80社に対し95社となり、目標を上回る加入がありました。

最後に、令和2年度の収支決算においては、公益目的事業会計及び法人会計を合わせた事業活動収支の部については、収入が226,995,815円に対して、支出が188,665,581円、投資活動収支の部については、投資活動収入18,087,854円に対して、投資活動支出が54,784,238円、財務活動収支の部については、財務活動収入0円に対して、財務活動支出が1,849,176円となり、合算すると収入総額は245,083,669円、支出総額は、245,298,995円となります。これにより、差引き△215,326円が当期収支差額となり、前期繰越収支差額391,001円を加えた175,675円が次期繰越収支差額となりました。

以下、事業内容及び収支決算の詳細は別紙のとおりです。

事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

I 公益目的事業

◇ 教育事業

定款第4条第1項第1号及び第2号に掲げる事業を、次のとおり実施した。

1 学習講座開設事業

(1) 千歳水族館学習事業

ア アクアリウムナイトツアー

小中学生の夏休み期間中に実施予定としていた水族館での宿泊体験「アクアリウムナイトツアー」を新型コロナウイルス感染防止のため、事業内容を縮小し「夜の水族館探検」として8月9日(日)に実施した。水族館閉館後、グループごとに時間をずらして集合してもらい、消灯後の館内で夜の生き物たちの様子を観察しながら「きもだめし」や「ゲーム」を楽しみ、幼児から中学1年生までの17名と大人6名の9グループ計23名が参加した。

イ サーモン・ツアー ～早起きはサーモンの徳～ (中止)

水族館に宿泊しながら、サケについて生態や食文化など様々な角度で学ぶ「サーモン・ツアー」を新型コロナウイルス感染防止のため、千歳川を遡上する早朝のサケ見学のみに変更し9月26日(土)に実施する予定であったが、台風の接近のため中止とした。

ウ サケふるセミナー

サケの生態や水生生物などに関する体験プログラムを合計8回実施し、延べ218名が参加した。

実施内容は次のとおり。

6月14日(日)	ミニ水族館作り 「エゾサンショウウオを飼ってみよう」	20名
8月15日(土)	ミニ水族館作り 「スジエビを飼ってみよう」	20名
9月22日(火・祝)	サケの採卵体験	7組25名
10月4日(日)	サケの採卵体験	8組27名
10月24日(土)	サケの採卵体験	7組27名
11月8日(日)	サケの採卵体験	8組39名
11月23日(月・祝)	サケの採卵体験	8組35名
12月6日(日)	サケの採卵体験	6組25名

(2) ジュニア・リーダー活動事業

ア ジュニア・リーダー講習会

子どもたちによる子ども会活動活性化の中心的な役割を果たすリーダーの育成を目的に、前期講習会を4月と8月の2回実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため延期及び時間を短縮し、11月1日(日)1回のみ北ガス文化ホールにおいて実施した。初級、中級、上級合わせてジュニア・リーダー20名、シニア・リーダー9名が参加して、創作活動の実践研修などを行った。

後期講習会は12月20日(日)と2月21日(日)、北ガス文化ホールにおいて時間を短縮して実施した。初級、中級、上級に合わせてジュニア・リーダー21名、シニア・リーダー延べ18名が参加し、創作活動の実践研修などを行った。

(3) シニア・リーダー活動事業

ア 全道地域子ども会リーダー研修会（中止）

8月8日(土)から10日(月・祝)までの3日間、国立日高青少年自然の家において、全道各地の高校生リーダーが集まり研修会が開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

イ シニア・リーダーわくわく体験教室（中止）

シニア・リーダーが講師となり、日頃の活動訓練の成果を発揮し、リーダーとしての資質向上を図ることを目的として、アクアリウムナイトツアー（8月9日）及びサーモン・ツアー（9月26日）の参加者を対象として実施する予定であったが、両事業とも新型コロナウイルス感染防止のため事業内容を変更したことにより中止となった。

ウ 石狩管内地域子ども会シニア・リーダー研修会（中止）

9月に恵庭市において、管内の子ども会やシニア・リーダーが参加する研修会が開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

エ ジュニアリーダーHokkaido

11月7日(土)から8日(日)までの2日間、ネイパル深川において、道内で活動するリーダーが参加、交流した。シニア・リーダー「つばさ」からは1名が参加して、地域課題の解決を考える学習を通して町の活性化を考えるなど、地域の良さを客観的に見つめる視点やボランティア活動などの地域活動に主体的に参画する意欲・態度の向上を図った。

オ 石狩管内青少年リーダーサークル交流会

石狩管内で活動する5市町の青少年サークルが、それぞれのサークル紹介やコロナ禍での活動状況、今後活動を進めるためお互いのアイデアなどの情報交換を行うことを目的に、2月7日(日)オンライン交流会を実施した。千歳市からはシニア・リーダー7名が参加して、活動内容やレクリエーションなどを千歳水族館からオンラインで紹介した。

カ シニア・リーダー「つばさ」研修会

3月27日(土)、千歳市みどり台南町内会館において、シニア・リーダー「つばさ」の会員17名が参加し、各種行事や事業についての企画立案、運営方法などを学び、他団体も含めた様々な事業への支援活動を担える力を養成するための研修会を実施した。

キ 市町村ジュニア・リーダー合同研修交流会（中止）

3月下旬、ネイパル深川において、道内5市町のシニア・リーダーが集まり、レクリエーション技術や活動内容の紹介などによる交流を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。

ク 千歳水族館学習事業・社会教育関連事業・町内会事業への支援活動

シニア・リーダー活動で養った経験・資質を生かし、青少年育成に関わる千歳水族館の学習事業に関連した4事業に延べ32名が参加、支援した。町内会からの支援依頼はなく、実施されなかった。

(4) 自然教室（中止）

集団生活を通じて団体生活の規律を身に付けることを目的に、8月5日(水)から6日(木)までの1泊2日で、国立日高青少年自然の家にて小学4年生から中学3年生までの32名を募集して実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染防止及び小中学生の夏季休暇日程の変更のため中止とした。

(5) 冬休み体験教室（中止）

国立日高青少年自然の家において、集団宿泊生活を通して子どもたちの自立と精神的成長を促すことを目的に、1月6日(水)から8日(金)まで、小学4年生から中学3年生までを対象に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

(6) 体験学習

- ① 千歳の味覚を味わおう ハスカップ摘み&ジャム作り (中止)
千歳市特産の食材に対する関心や知識を深めることを目的に、7月4日(土)小学3年生から中学3年生までを対象に実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。
- ② 美々川カヌー体験
千歳近郊の豊かな自然を体感することを目的に、10月11日(日)に小学1年生から4年生までの子どもたちとその保護者3組6名が参加して、美々川でカヌー体験を実施した。

2 社会教育関連事業

(1) 千歳青少年育成推進員の設置

市内の地域における児童の健全育成対策及び子ども会等青少年育成活動の推進を図るため、令和2年6月1日から令和4年5月31日までの2年間を任期とし、「千歳青少年育成推進員」として66名に委嘱した。

(2) ラジオ体操講習会(千歳市子ども会育成連合会共催事業) (中止)

NHKラジオ・テレビ体操で指導されている講師を迎え、7月5日(日)富丘中学校体育館において、町内会や青少年育成活動の支援者等を対象にラジオ体操講習会の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

(3) 緑の村キャンプ大会(千歳市子ども会育成連合会共催事業) (中止)

仲間との宿泊生活や野外活動、自然の探求を通して、協力し助け合い励まし合う仲間づくり、自然を愛する豊かな心の育成、他の地域の子どもの会との交流を目的に、青葉公園ピクニック広場において2回の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

- ・第1回 7月18日(土)~19日(日)を予定 町内会主催(中止)
- ・第2回 7月23日(木・祝)~25日(土)を予定 千子連主催(中止)

(4) ちとせの子どもクリスマスの集い(千歳市子ども会育成連合会共催事業) (中止)

12月6日(日)に開催し、市内の幼児と小中学生を対象に創作活動やレクリエーション、キャンドルサービスなどを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

(5) ちとせっ子雪あそび(千歳市子ども会育成連合会共催事業) (中止)

市内の小中学生を対象として、サーモンパークにおいて、雪上レクリエーションを2月7日(日)に開催する予定を、新型コロナウイルス感染防止のため3月7日(日)に延期したが、再度中止とした。

3 教育機関支援事業

(1) 総合的な学習などへの協力

千歳市内の幼稚園及び小・中学校等の学習活動に対応し、合計27回、延べ1,616名を受け入れ、「サケ稚魚放流体験」、「採卵と人工授精体験」、「アイヌ文化学習」、「水生生物観察会」などを実施した。また、市外の小・中・高等学校、大学については延べ48回、2,818名を受け入れ、研修を実施した。

学芸員が直接学校へ出向いて講義する講師派遣については、市内の小学校5施設及び幼稚園・保育園合わせて3施設において、トバ作り体験やサケのふ化観察学習などのテーマで8回、598名に実施した。

(2) 職業体験への協力

インターンシップと博物館学芸員実習の受け入れを実施した。インターンシップは1大学と1専門学校の計2名、学芸員資格取得のための博物館実習は3大学計3名を受け入れた。

(3) 「サケ稚魚による子どもたちの交流事業」への協力

千歳中央ライオンズクラブが主催する、サケ稚魚のふ化放流を仲立ちとした岡山市と千歳市の児童・幼児の相互交流事業に協力した。児童及び学校関係者の行き来は新型コロナウイルス流行のため中止となったが、代わって千歳中央ライオンズクラブ会員が岡山にサケ卵を届け、岡山の西大寺ライオンズクラブ会員が岡山で育てたサケ稚魚を千歳水族館にて放流し、その様子を撮影して岡山の担当学校に報告した。(提供：サケ卵800粒)

1月7日(木)： 岡山市出発へ向けてサケ使節団結団式

3月19日(金)： ライオンズクラブの会員が千歳川へサケ稚魚放流

(4) 各種生涯学習関連事業への協力(中止)

北ガス文化ホールにおいて開催予定の「青少年のための科学の祭典 千歳大会2020」と札幌市の地下歩行空間において開催予定の「第9回CISEサイエンスフェスティバル」は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

◇ 水族館管理運営事業

定款第4条第1項第3号に掲げる事業を、次のとおり実施した。

1 水族館管理運営事業

(1) 常設展示

ア 水槽展示

サケ科魚類を中心に、淡水・汽水域に生息する水生生物約100種を水量266トンの大水槽をはじめ大小約40基の水槽で展示。国内だけでなく海外の淡水魚類や甲殻類、サンショウウオやカメなどの両生・は虫類、鳥類のカイツブリや水生植物など、河川生態系を構成する生物種を幅広く展示し、生物の多様性や水生生物への興味関心を深めた。

イ 体験コーナー

ウグイ属やチョウザメ類を中心とした全面アクリルのタッチプールや、ドクターフィッシュ（ガラ・ルファ）の体験水槽、開放的なカイツブリのドーナツ型流水水槽などにより、来館者が水辺の生き物をより身近に感じることができる場を設けた。

ウ 大型スクリーン解説映像

千歳川を中心に撮影したサケの生活史や、さけ・ます人工ふ化放流事業などについて、およそ100インチの映像で解説。映像は2つのブースで上映し、日本語だけでなく英語の音声解説と繁体字、簡体字の字幕により、海外からの来館者にも対応した。

エ 水中観察ゾーン

千歳川の護岸を利用した水中観察施設において、サケの生態や水中観察室における観察記録などに関する解説コーナーを設置した。DVDやコンピュータを用いた映像機器なども利用し、千歳川の生物やその営み、環境の変化などについて紹介し、より深い理解を図った。

オ なるほど！？サーモンルーム（展示・学習ゾーン）

千歳におけるサケと人との関わりについて、サケ漁の歴史や資源増加を図るための人工ふ化放流事業の歴史などについて紹介した。また、千歳アイヌのサケ文化をテーマに、千歳におけるアイヌ文化とサケの関わりについての展示エリアをリニューアルし、パネルや映像、実物の漁具などを使って解説した。また、日本各地の伝統的なサケ料理法や様々なサケ料理のレシピも紹介した。

カ 学習室

液晶プロジェクターや50インチプラズマディスプレイなどの映像機器を設置し、稚魚放流体験の解説、採卵実習など各種体験教室の場として、また幼稚園や学校など団体の見学時における講話や雨天時の昼食場所などのほか、各団体における会議の利用など、幅広い活用を図った。

(2) 企画展示

ア 企画展示

① スロープ展「漫画で学ぶ森林・林業・木材の魅力！～平田美紗子氏～」

3月14日(土)から6月30日(火)まで、林野庁北海道森林管理局の平田美紗子さんが描いた漫画作品3タイトル(「リン子の絵日記」、「人to木」、「お山ん画」)を展示した。

② 特別展「サケふるカエル・ラボ～オタマの”ふしぎ”にひっくりカエル～」

6月1日(月)から6月30日(火)まで、北海道の最新の外来カエル事情やオタマジャクシの生き残りをかけた変身術などの紹介とともに、北海道に生息するカエルやサンショウウオに加え海外のカラフルなヤドクガエルなど12種類を展示した。

③ 夏季企画展「気分はお祭り 金魚展」

7月18日(土)から8月23日(日)まで、「夏祭り」をテーマとした展示空間に金魚15種類を展示した。また企画展開催に合わせ、次の5つのイベントを実施した。

・浴衣でGO

夏季企画展開催中に浴衣または甚兵衛を着て来館した方、先着200名様に記念うちわをプレゼントし、定員達成後に来館した63名については、缶バッジをプレゼントした。

・金魚イラストコンテスト

7月1日(水)から8月23日(日)まで、金魚をモチーフとしたイラストを募集し、101名の応募の中から入選者20名を選び、記念品を送付した。

・金魚プレゼント

夏季企画展の展示終了後、展示金魚の一部を年間パスポート会員限定で、希望者にプレゼントする企画を実施。151名(186通)の応募から抽選で46名に計15品種・93匹をプレゼントした。

・金魚を飼ってみよう

基本的な金魚の飼い方についての解説と金魚(小赤)のプレゼントを、8月9日(日)と8月16日(日)に2回実施し、計11名の参加があった。

・金魚すくい

7月23日(木・祝)から8月23日(日)まで、売店での購入金額に応じた抽選等により参加者を限定して実施し、1,070名が参加した。

④ ジオアートワークス企画展「サケの森～巡る命の旅～」

8月29日(土)から9月27日(日)まで、北海道を旅立ったサケ・マス類が生涯をかけて旅をする様々な地域の生態系「サケの森」に生息する生物をモチーフとした、9人のワイルドライフアート作家の作品42点を展示した。また、参加作家の制作過程を見学する「デモンストレーション」や「実演販売」を次のとおり実施した。

・齊藤健輔／ペーパークラフト昆虫制作

8月29日(土) 121名

9月27日(日) 217名

・かきはらひとみ／ウッドバーニング

9月 5日(土) 122名

9月20日(日) 146名

- ・武内朋之／ボールペン画制作
 - 9月12日(土) 73名
 - 9月21日(月・祝) 93名
- ・佐藤忠雄／木彩画制作
 - 9月26日(土) 160名

⑤ 黒川絵理奈切り絵展「切り絵アート アクアリウム」

10月10日(土)から11月8日(日)まで、切り絵作家の黒川絵理奈氏による切り絵の金魚と生体金魚の切り絵展を開催し、計25点を展示した。また、作家の制作過程を見学する「デモンストレーション」を次のとおり実施した。

- 11月7日(土) 89名
- 11月8日(日) 112名

⑥ 角張隆正写真展「千歳の空の下で」

11月14日(土)から1月11日(月・祝)まで、市内在住の写真家・角張隆正氏が、千歳市内や近郊で撮影した、野鳥と飛行機の写真35点を展示した。

⑦ 写真展「鮭（カムイチェップ）をめぐる千歳のアイヌ文化」

2月1日(月)から3月31日(水)まで、千歳市在住の医師で写真家でもある柁嶺レイさんにより撮影された、千歳のアイヌ文化を紹介する写真38点を展示した。

イ サケの成長過程による季節展示

① 親魚展示

サケ属親魚の産卵遡上にあわせ、秋季にサケ属3種の回帰親魚を展示した。

- ・サケ : 9月 1日～12月15日
- ・カラフトマス : 8月31日～10月15日
- ・ベニザケ : 9月 4日～11月10日

② 発眼卵展示

シャンパングラスに入れたサケの発眼卵をクリスマスまでは「グラスツリー」、クリスマス後は「グラスタワー」として展示した。

- ・展示期間 : 11月20日～ 1月31日

③ ふ化観察展示

水中観察ゾーンで、サケふるセミナーの採卵体験で得た受精卵を実施日ごとに6水槽に分けて、卵から稚魚まで展示した。

- ・展示期間 : 10月 4日～ 1月31日

ウ 季節ごとのテーマ水槽展示

季節の行事に合わせた企画テーマ水槽を、水中観察ゾーンやサーモンゾーンに設置した。

- ・ハロウィン水槽 : 10月16日～10月31日
- ・サモン神社と干支水槽 : 1月 2日～ 1月31日
- ・スイート水槽 : 2月 6日～ 3月14日
- ・ひな祭り水槽 : 2月20日～ 3月 3日

(3) 各種体験学習及びイベント

ア バックヤードツアー

希望する団体等に、水族館の裏側探検や餌やり体験などを行うバックヤードツアーを実施し、学校や一般団体など18団体746名が体験した。

イ サケ皮クラフト工房

サケ皮を使ったしおりの製作を通じ、アイヌ文化の一端に触れる体験学習で、1学校42名が体験した。

ウ サケ稚魚放流体験

令和2年4月1日から令和2年6月30日まで及び令和3年3月1日から3月31日までの期間中、延べ10,338名の来館者がサケの回遊ルートや生態解説の後、サケ稚魚の放流を体験した。

エ 季節のイベント・体験

鯉の日、クリスマス、お正月などの季節行事に合わせ、より楽しみながら見学できる参加型のイベントを実施した。

① 飼育の日イベント（中止）

（公社）日本動物園水族館協会が動物園・水族館の役割について広く普及啓発を図るために定めた4月19日（日）の「飼育（419）の日」に、「大水槽エサやり体験」を行う予定であったが、臨時休館のため中止した。

② ゴールデンウィークイベント（中止）

5月2日（土）から5月6日（水・祝）までの5日間、「サケふる・春の縁日」として、館内において次の事業を予定していたが、臨時休館のため中止した。

- ・5月2日～5月6日 「スジエビすくい」や「館内クイズラリー」（中止）
- ・5月3日～5月4日 「オタマでオタマすくい」（中止）
- ・5月3日～5月5日 「サケ稚魚すくい」及び「スーパーボール&ヨーヨーすくい」（有料）（中止）

③ サーモンフェスティバル（中止）

5月5日（火・祝）にサケ稚魚の放流を主とした「サーモンフェスティバル」を予定していたが、臨時休館のため中止した。

④ ライブ配信「見てみる！？“サケふる”ナマLive」

臨時休館中の5月11日（月）から5月31日（日）まで、展示生物やエサやり「カモン・サーモン・ごはんだモン」の様子を毎日ライブ配信した。また再オープン後は6月25日（木）から不定期で、千歳川水中観察窓の状況を紹介するライブ配信を14回実施した。

⑤ ホタルのタベ（中止）

ホタルの点灯の体験会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

⑥ ハロウィンイベントウィーク

10月24日（土）から31日（土）まで、期間中仮装して入館した子ども251名にお菓子を配布した他、館内クイズラリーを実施して768名が参加した。10月の館内はハロウィンにちなんだ装飾や水槽を設置して、雰囲気盛り上げた。

⑦ 鮭活イベント

11月11日の「鮭の日」にちなみ、11月の週末に「鮭活イベント」として、サケの親魚に触ることができる「サケタッチ」、サケ皮を使った「しおり作り」を実施した。

・サケタッチ

屋外の常設テントに水槽を設置して、サケの親魚に触る体験を実施した。

11月 3日(火・祝) 44組84名

11月11日(水) 11組16名

11月22日(日) 40組88名

・サケ皮しおり

2階学習室で、サケの皮を使ったしおり作りを実施した。

11月15日(日) 32名

11月29日(日) 40名

⑧ クリスマスイベント

12月19日(土)から25日(金)まで、クリスマスイベントの期間を設けて次の4つのイベントを実施した。12月の館内はクリスマスツリーなどの装飾やクリスマス水槽の設置などで、イベントを盛り上げた。

・サンタダイバーと記念撮影

12月19日(土)・20日(日)及び24日(木)・25日(金)に、支笏湖大水槽でのサンタダイバーによるエサやりと記念撮影を行い、延べ197名が参加した。

・館内クイズラリー「サンタサモンを探せ」

12月19日(土)から25日(金)まで、館内に隠されたサンタサモンを探して、謎を解くクイズラリーを実施し、計238名が参加した。

・オリジナルスノードーム作り体験

12月19日(土)、20日(日)に、オリジナルスノードーム作りを実施し、計39名が参加した。

・大水槽エサやり体験

12月19日(土)から25日(金)まで、バックヤードツアーや大水槽エサやりなどの水族館飼育業務の体験を実施し、50名が参加した。

⑨ 新春イベント

12月26日(土)から1月11日(月・祝)まで、新春イベントの期間を設け、以下の4つのイベントを実施した。

・干支ダイバーと記念撮影

12月26日(土)・27日(日)及び1月2日(土)・3日(日)に、支笏湖大水槽での干支ダイバー(牛)によるエサやりと記念撮影を行い、延べ255名が参加した。

・オリジナルスノードーム作り体験

1月3日(日)、9日(土)に、オリジナルスノードーム作りを実施し、合計30名が参加した。

・大水槽エサやり体験

1月9日(土)から11日(月・祝)まで、バックヤードツアーや大水槽エサやりなどの水族館飼育業務の体験を実施し、計25名が参加した。

・来館者プレゼント

1月2日(土)の新春オープンにあわせ、来館者にオリジナルプリントお菓子や干支サモン缶バッジ、またチケットカウンターにて1,000円以上お支払いのお客様先着100名様に「オリジナルトートバッグ」をプレゼントした。

- ⑩ 初夢プレゼント
 令和2年1月2日(木)から13日(月・祝)まで、サモン神社内で募集した初夢の応募者1,210名の中から2名の初夢について、次のとおりプレゼント体験を実施した。
- ・「インディアン水車のサケ捕獲見学&中水槽サケ搬入作業」 10月24日
 - ・「インディアン水車のサケ捕獲見学&中水槽サケ搬入作業」 11月 7日
- ⑪ 節分イベント
 1月30日(土)、31日(日)及び2月2日(火)に、節分イベントとして「鬼ダイバーと記念撮影&エサまき」を実施し、延べ108名が参加した。
- ⑫ サケふるドキドキフォトキャンペーン
 2月6日(土)から3月14日(日)まで、スイート水槽の設置に合わせ、千歳水族館公式Instagramを利用し、オリジナルグッズが当たるフォトキャンペーンを実施した。
 19点作品投稿があり、抽選で3名にグッズをプレゼントした。フォロワーは44名増加した。
- ⑬ Twitterハッシュタグキャンペーン「#サケふるへ愛をサケぶ」
 3月1日(月)から3月31日(水)まで、Twitter上で「#サケふるへ愛をサケぶ」を付けて千歳水族館の好きな所や生物についてツイートしてもらうキャンペーンを実施し、35名から53件の投稿があり、期間中でフォロワーが45名増加した。投稿者の中から抽選で10名にオリジナルグッズ詰め合わせ、内最優秀者1名には年間パスポート無料更新券をプレゼントした。また、ツイート数の多かった生き物は1位からサケ、カイツブリ、ポルカドットスティングレイとなった。
- ⑭ アクアショップCHUMオープン3周年キャンペーン
 令和3年3月5日(金)の売店オープン3周年を記念し、3月1日(月)から3月31日(水)まで、LINE新規友達登録での割引クーポン抽選や、2,000円以上のお買い上げでプレゼントするコイのエサを増量するなどのキャンペーンを実施し、LINE登録者は期間中に88名増加した。また、3月4日(木)から6日(土)には、売店利用者先着100名にオリジナルお菓子をプレゼントした。

オ ちょこっと体験

土日祝日のほか、冬休みや春休みの期間に、有料で餌やり体験やバックヤードツアーなど、水族館飼育業務に関する体験を合計34回実施し、延べ245名が参加した。

カ その”サーモン”どこからきたの？ 海と日本PROJECT

10月10日(土)に、北海道大学及び回転寿司の北々亭千歳店と連携して学習室において開催した。親子連れなど26名が参加し、北海道大学の清水准教授によるサケの講話や、北々亭によるサケの解体実演、寿司握り体験などを通じて、食材としてのサケ資源の現状について認識を深めた。

キ じゃらんnet遊び体験予約

じゃらん限定のネット予約体験で、大水槽のエサやりも体験できるバックヤードツアーを開館中毎月実施し、延べ1,172名が参加した。

ク コイのエサやり体験

年間を通して平日を中心に、事前予約制・有料によりコイの水槽でエサやり体験を行い、延べ608名が参加した。

ケ アイヌ文化体験プログラム創出事業（新規）

サケと関わりの深い千歳のアイヌ文化を広く紹介するため、アイヌ施策推進交付金を利用し「なるほど！？サーモンルーム」のアイヌ文化展示のリニューアルを実施し、2月から展示を開始した。また、2月27日(土)には千歳アイヌ文化伝承保存会副会長 平井史郎氏による「先住民族と先住権」、28日(日)には公益財団法人北海道アイヌ協会副理事長・千歳アイヌ協会会長の中村吉雄氏による「アイヌ文化と私」と題した記念講演会を開催し、27日は35名、28日は31名の参加があった。

また、講演会後には、千歳アイヌ協会、千歳アイヌ文化伝承保存会の協力のもと、大水槽前のフロアにおいて古式舞踊や伝統楽器の演奏などを披露し、多くの来館者が観覧した。

(4) 入館者の拡大推進

ア 団体誘致活動

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、道外や海外については訪問による営業活動を自粛し、電話やメール等を利用した情報収集を行うとともに、体験メニューの改定やアイヌ文化展示のリニューアルオープンの案内のほか、各企画展等の情報について、周知を図った。また、市内の幼稚園、保育園、小中学校へPRパンフレットの配布・設置を行うとともに、近隣市町の幼稚園・保育園へは送付した。

全国の高等学校及び道内小中高等学校約6,300校に体験内容などを紹介したサケのふるさと千歳水族館のPRパンフレットを送付した。

イ 情報媒体を利用した広告宣伝活動

Webメディアを利用したタイムリーな情報提供や、テレビ、ラジオ、雑誌などのメディアを有効利用した広告宣伝を実施するとともに、ホテル、観光施設等にポスターの掲示やPRパンフレットの配置を行った。

テレビ・ラジオやイベント等を通じた広告宣伝・PR活動は、次のとおり行った。

① テレビ・ラジオCM

放送機関	放送内容	放送期間	本数	合計
テレビ	水族館紹介	6月 1日 ~ 6月 7日	14	377
	夏季企画展	7月25日 ~ 8月 7日	12	
	秋季企画展	9月 7日 ~ 9月20日	22	
	アイヌ文化展示 稚魚放流	3月 6日 ~ 4月 3日	78	
ラジオ	水族館紹介	6月23日 ~ 11月 3日	141	
	アイヌ文化展示 稚魚放流	3月 6日 ~ 3月26日	110	

② RR活動

放送機関等	番組名	本数	合計
テレビ	どさんこワイド、今日ドキッほか	31	41
ラジオ	トピッカー、さっぽろ村ラジオほか	10	

ウ 多言語システムの導入

近年増加している海外からの小団体旅行（FIT）に対応するため、光IDシステム“LinkRay”を導入し、来館者が持参のスマートフォンやタブレットにインストールした専用のアプリを用いて展示水槽や生物についての解説を日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、タイ語、韓国語の6言語で閲覧可能とした。

エ 音声ガイドシステムによる解説

来館者が自身のスマートフォンやタブレットで利用できる、体験型音声ガイドアプリ「Pokke(ポッケ)」に、千歳市出身の声優・鈴木愛奈さんのナレーションによるサケや千歳水族館の展示生物に関する音声ガイドを登録し、入館チケットと併せ有料で提供した。また、同ガイドに市内登録店舗にて使用可能な各種クーポンを付け、水族館見学における満足度の向上を図るだけでなく、周辺の観光施設や店舗へ周遊を促した。

オ ネットワークカメラによるリアル映像配信

ホームページにおいて、水中観察窓及びインディアン水車の様子をインターネットによるライブ映像として配信を継続した。また、受付カウンター横に設置した液晶モニターやエントランスホールの大型アクリルスクリーンにより、当日のイベントや展示情報を紹介し来館者の利用を促すとともに、感染症拡大防止対策等の注意喚起を実施した。

カ 市内小中学生年間パスポートの無料配布

市内の全小中学生に対し年間パスポートを年度当初に無料で配布した。4月9日(木)に千歳第二小学校で贈呈式を行った。

キ 道の駅機能との連携強化

- ① ピザドゥとのコラボ企画として、当日のレシートや入館券の提示で双方間での割引料金を適用した。
- ② 道の駅のスタンプラリー帳持参者に割引料金を適用し、96名の利用があった。
- ③ 千歳市の主催により道の駅と水族館を会場に実施された「アイヌの世界を旅するリアル謎解きゲーム『神の魚を手に入れろ』」（10月3日～3月14日・土日祝）及び「アイヌの世界をサケと巡るナゾトキ『めざせ！約束の海(アトウイ)』」（3月20日～3月31日・毎日）において、謎解きキット持参者に割引料金を適用し、223名の利用があった。

ク 来館者のサービス向上の取組

来館者の満足度向上を図るため、館内に設置した売店にて、水族館のオリジナルグッズや開催中の企画展に関連した作家たちの作品やグッズなどを販売した。

(5) メンテナンス特別開館

例年のメンテナンス休館期間の1月14日(木)から31日(日)まで、メンテナンス特別開館として館内の大型水槽を中心に掃除作業を実施しながら開館した。また、24日(日)には水槽掃除体験(体験ゾーン)を有料で実施し、12名が参加した。

(6) 千歳サケのふるさと村教授会との連携（年度末会員数 32名）

平成7年3月から当館のボランティアグループとして活動を開始。会員の1～3名が、毎日交代で館内の案内や展示解説等の活動を行うほか、当館が実施するイベント行事や展示などに支援と協力をいただいた。

2 年間パスポート会員の加入促進

(1) 年間パスポート個人会員及び法人会員募集

新型コロナウイルスの影響による臨時休館に伴い、臨時休館中に有効期限内の年間パスポート会員については、有効期限を2か月延長した。

個人会員は、目標6,300人に対し5,267人であり、目標を下回る結果となった。

法人会員は、目標80社に対し95社となり、目標を上回る結果となった。

(単位 : 人・社 : 千円)

種 別		令和2年度		令和元年度		増 減	
区 分	年会費	会員数	金 額	会員数	金 額	会員数計	金額計
大 人	1,500	4,575	6,862.5	5,161	7,741.5	△586	△879
高校生	1,500	18	27	14	21	4	6
小中生	500	674	337	865	432.5	△191	△95.5
計	—	5,267	7,226.5	6,040	8,195	△773	△968.5
法人	10,000	95	950	114	1,140	△19	△190
合計	—	5,362	8,176.5	6,154	9,335	△792	△1,158.5

3 情報提供活動

(1) 新聞連載

北海道新聞千歳恵庭版のエッセイ欄「せせらぎ」に千歳水族館の展示生物や千歳の自然などの情報を3回掲載した。

(2) ホームページ・SNS

ホームページ閲覧者を入館へと繋げられるよう、展示生物などに関するより多くの情報提供と、Webチケットの利用やイベント予約などの利用を容易とした公式ホームページをリニューアルし、2月1日より公開した。

ホームページの国内アクセス件数は、北海道、東京、神奈川、大阪、愛知を中心に227,169件であった。また、海外では129カ国からのアクセスがあり、多い順にアメリカ、中国、韓国、台湾、インドとなっていた。また、主なSNSの投稿とフォロワー数の状況は、下表のとおりであった。

SNS名	投稿数	フォロワー数 (R3.3.31現在)
Twitter	453	3,401
Facebook	15	1,201
Instagram	112	1,540
LINE	50	1,488
YouTube	33	217

(3) サモンメール

特別展示等のイベント案内や、水中観察ゾーンの状況等をメールマガジンとして20回配信し、令和2年度末現在、登録者数は3,771名であった。

(4) Wi-Fi利用

Wi-Fi利用者は累計で2,443名であったが、日本語の利用が100%、海外利用は0であった。

4 新型コロナウイルス感染症の対応について

(1) 水族館の臨時休館の実施

国の緊急事態宣言並びに北海道の緊急事態措置に基づく水族館を含む集会・展示施設への休業要請により、当初は4月18日から5月6日までを臨時休館としたが、その後相次ぐ北海道の緊急事態措置の更新等により5月31日まで休館を延長し、6月1日から再オープンした。

(2) 感染防止の取組

北海道が令和2年2月28日(金)「新型コロナウイルス緊急事態宣言」を発表した後、館内では新型コロナウイルス感染予防のため、消毒、マスク、換気等の対応を実施してきたが、6月の再オープンからは、さらに次の「新北海道スタイル」の各種取組を実施した。

ア 「新北海道スタイル」「7つの習慣化」の取組

- ① スタッフのマスク着用や手洗い等の取組
 - ・咳エチケットの注意および接客時のマスクやフェイスシールドの着用
 - ・手洗い、手指消毒の徹底および状況に応じて使い捨て手袋の着用
- ② スタッフの健康管理の徹底
 - ・毎日2回の検温の義務付け、発熱が確認された場合の医療機関の受診
- ③ 施設内の定期的な換気
 - ・機器による強制換気の実施
 - ・入館者の状況や天候などに応じた入口自動扉および窓の開放
- ④ 設備、器具などの定期的な消毒・洗浄
 - ・手すりやイスなど、触れる機会が多い場所の消毒の徹底
 - ・昇降機や貸出車椅子等の使用後の消毒
- ⑤ 人と人の接触機会を減らすことの取組
 - ・床面にソーシャルディスタンスマークの表示や館内放送による呼びかけ
 - ・時間ごとに入館者数を把握し、必要に応じて入館制限の実施
 - ・Webチケットや各種キャッシュレス決済の増設
- ⑥ お客様にもマスク着用および咳エチケットや手洗いの呼びかけ
 - ・ご入館時のお声かけおよび館内掲示による呼びかけの実施
 - ・定期的な館内見回りによる注意喚起
- ⑦ 館内掲示やホームページなどを活用し、千歳水族館の取組を積極的にお知らせ
 - ・団体予約状況のホームページ掲載
 - ・入館制限実施日の館内掲示やホームページ、SNS掲載

(3) 「千歳水族館・新型コロナウイルス感染拡大防止対策マニュアル」の作成及び見直し

千歳水族館の6月再オープンに向け、入館者と職員の安全を確保するため、公益財団法人日本博物館協会のガイドラインを踏まえ、感染拡大予防対策として実施すべき基本的事項をまとめたマニュアルを作成し、感染予防の徹底を図るとともに、実施状況等を踏まえ適宜見直しを行った。

※ 令和2年度 入館者状況

令和2年度は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大により、4月から5月にかけて北海道の緊急事態措置に基づき臨時休館とした。その後も感染拡大の状況が続く中、旅行や外出の自粛などの影響により、総入館者数は前年度を大きく下回る145,918人となった。

月別入館実績及び前年度対比は下表のとおりである。

(人)

区 分	有 料	無 料	年間パスポート会員	計
4月	1,222	812	1,214 (※ 282)	3,248
5月	0	0	0 (※ 0)	0
6月	4,205	1,866	2,049 (※ 398)	8,120
7月	7,521	3,070	3,051 (※ 783)	13,642
8月	14,075	4,217	3,794 (※ 943)	22,086
9月	17,229	4,349	3,911 (※ 654)	25,489
10月	16,230	5,626	3,607 (※ 549)	25,463
11月	7,745	2,256	2,177 (※ 264)	12,178
12月	2,454	1,507	1,645 (※ 190)	5,606
1月	2,575	1,705	1,835 (※ 205)	6,115
2月	3,242	2,143	2,204 (※ 245)	7,589
3月	8,487	4,156	3,739 (※ 658)	16,382
合 計	84,985	31,707	29,226 (※ 5,171)	145,918
前年度	171,602	44,774	42,000 (※ 9,445)	258,376
増 減	△ 86,617	△ 13,067	△ 12,774 (※ △ 4,274)	△ 112,458
前年対比	49.5%	70.8%	69.6% (※ 54.7%)	56.5%

※年間パスポートのうち、市内小中学生の人数

Ⅱ 役員に関する事項

(令和2年度末現在)

職名	氏名	就任年月日	備考
理事長	入口博美	R 2. 5. 28	
常務理事	南知秀	H29. 4. 1	
理事	石田肅一	R 2. 5. 28	
理事	田中秀典	H28. 5. 25	
理事	曙嘉輝	R 2. 5. 28	
理事	小田賢一	R 2. 5. 28	
理事	安藤孝雄	H24. 4. 1	
理事	千田義彦	R 2. 5. 28	
監事	小泉義隆	R 2. 11. 9	
評議員	橋本由美	R 2. 5. 28	
評議員	四方信次	H24. 4. 1	
評議員	福田誠	H24. 4. 1	
評議員	師岡郁彦	H28. 5. 25	
評議員	高井博和	R 2. 5. 28	
評議員	上野亜由美	R 2. 5. 28	
評議員	松本千恵子	H29. 11. 6	
評議員	開発治	H28. 5. 25	

Ⅲ 職員に関する事項

1 主要職員

(令和2年度末現在)

職名	氏名	発令年月日	備考
事務局長	井上晴雄	平成28年4月1日	
事務局次長兼 水族館館長	菊池基弘	平成27年4月1日	
事務局次長	菊池司	平成29年4月1日	

2 職員

(令和2年度末現在)

区分	職員数	備考
職員	14	教育3人・水族館11人・法人1人
受付等任用職員	1	水族館
臨時職員	4	水族館
売店職員	1	水族館パートタイマー
合計	20	

IV 理事会・評議員会の開催状況

1 理事会

開催	開催日	議案番号	付 議 案 件	結 果
第1回	2. 5. 8	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号	令和元度事業報告について 令和元度会計決算報告について 令和元度監査報告について 評議員会の招集について	決 定 決 定 決 定 決 定
第2回	2. 5. 28	報告第1号 報告第2号 報告第3号 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号	定款の一部改正について 役員の選任結果について 評議員の選任結果について 理事長（代表理事）の選定について 常務理事（業務執行理事）の選定について 就業規則等の一部を改正する規則の制定について 会計規程等の一部を改正する規程の制定について	報告済 報告済 報告済 決 定 決 定 決 定 決 定
第3回	2. 10. 28	報告第1号 議案第1号	定款第22条第3項に基づく報告について 評議員会の招集について	報告済 決 定
第4回	3. 2. 8	報告第1号 報告第2号 議案第1号 議案第2号 議案第3号	役員の選任結果について 専決処分の報告について 令和3年度事業計画及び収支予算について 職員の給与に関する規程の一部を改正する規程の制定について 評議員会の招集について	報告済 報告済 決 定 決 定 決 定
第5回	3. 3. 25	報告第1号 報告第2号 報告第3号 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号	役員の辞任届の受理について 定款第22条第3項に基づく報告について 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部を改正する規程の制定について 令和2年度第2回補正予算について 会計年度雇用職員取扱規程の制定について 処務規程等の一部を改正する規程の制定について 就業規則等の一部を改正する規則の制定について	報告済 報告済 報告済 決 定 決 定 決 定 決 定

2 評議員会

開催	開催日	議案番号	付 議 案 件	結 果
第1回 (定時)	2. 5. 28	報告第1号 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号	平成31年度第3回補正予算について 令和元年度事業報告について 令和元年度会計決算報告について 令和元年度監査報告について 定款の一部改正について 就業規則等の一部を改正する規則の制定について 会計規程等の一部を改正する規程の制定について 役員の選任について 評議員の選任について	報告済 決 定 決 定 決 定 決 定 決 定 決 定 決 定 決 定
第2回	2. 11. 9	報告第1号 報告第2号 議案第1号	理事長及び常務理事の選定結果について 令和2年度業務執行状況及び予算執行状況について 役員の選任について	報告済 報告済 決 定
第3回	3. 2. 18	報告第1号 報告第2号 報告第3号 議案第1号	令和3年度事業計画及び収支予算について 専決処分の報告について 職員の給与に関する規程の一部を改正する規程の制定について 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部を改正する規程の制定について	報告済 報告済 報告済 決 定

令和2年度決算報告書

I 貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

○総括表

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	1,371,634	1,412,560	△ 40,926
預金	36,601,480	19,709,328	16,892,152
未収金	1,178,846	636,357	542,489
前払金	20,000		20,000
流動資産合計	39,171,960	21,758,245	17,413,715
2 固定資産			
基本財産			
基本財産引当資産	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
特定資産			
建物	72,201,185	73,832,850	△ 1,631,665
建物附属設備	37,184,410	43,167,386	△ 5,982,976
構築物	29,209,715	36,512,141	△ 7,302,426
什器備品	1,247,610	2,106,786	△ 859,176
退職給付引当資産	13,941,213	12,500,829	1,440,384
減価償却引当資産	34,290,800	21,760,800	12,530,000
修繕料引当資産	49,938,319	38,388,319	11,550,000
特定資産合計	238,013,252	228,269,111	9,744,141
その他の固定資産			
建物	223,399,607	234,081,899	△ 10,682,292
建物附属設備	15,040,768	6,852,780	8,187,988
構築物	854,053	887,788	△ 33,735
機械装置	7,063,411	6,229,325	834,086
什器備品	6,573,711	10,314,041	△ 3,740,330
地下観察護岸	3,027,889	4,037,184	△ 1,009,295
リース資産	714,420	2,563,596	△ 1,849,176
電話加入権	290,984	290,984	0
出資金	20,000	20,000	0
その他の固定資産合計	256,984,843	265,277,597	△ 8,292,754
固定資産合計	504,998,095	503,546,708	1,451,387
資産合計	544,170,055	525,304,953	18,865,102
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	37,943,798	20,326,389	17,617,409
前受金	85,739	49,711	36,028
預り金	966,748	991,144	△ 24,396
1年以内返済予定リース債務	571,536	1,849,176	△ 1,277,640
賞与引当金	4,212,956	4,394,981	△ 182,025
流動負債合計	43,780,777	27,611,401	16,169,376
2 固定負債			
退職給付引当金	13,941,213	12,500,829	1,440,384
リース債務	142,884	714,420	△ 571,536
固定負債合計	14,084,097	13,215,249	868,848
負債合計	57,864,874	40,826,650	17,038,224
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	222,172,039	213,868,282	8,303,757
千歳市出損金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	232,172,039	223,868,282	8,303,757
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(222,172,039)	(213,868,282)	(8,303,757)
2 一般正味財産	254,133,142	260,610,021	△ 6,476,879
(うち特定資産への充当額)	(1,900,000)	(1,900,000)	(0)
正味財産合計	486,305,181	484,478,303	1,826,878
負債及び正味財産合計	544,170,055	525,304,953	18,865,102

Ⅱ 令和２年度 正味財産増減計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

○ 総括表

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,000	1,008	△8	
基本財産受取利息	1,000	1,008	△8	
② 特定資産運用益	9,250	6,016	3,234	
特定資産受取利息	9,250	6,016	3,234	
③ 事業収益	66,689,725	112,469,732	△45,780,007	
教育事業収入	120,600	714,345	△593,745	
水族館管理運営事業収入	65,659,125	110,840,887	△45,181,762	
体験料収入	910,000	914,500	△4,500	
④ 受取会費	8,176,500	9,335,000	△1,158,500	
個人会員会費収入	7,226,500	8,195,000	△968,500	
法人会員会費収入	950,000	1,140,000	△190,000	
⑤ 受取補助金等	140,840,786	111,137,042	29,703,744	
教育事業補助金収入	18,374,980	20,696,830	△2,321,850	
水族館管理運営事業補助金収入	76,951,692	57,522,000	19,429,692	
管理費補助金収入	10,209,633	10,438,679	△229,046	
特定資産取得補助金収入	1,608,238	1,439,000	169,238	
受取補助金等振替額	33,696,243	21,040,533	12,655,710	
⑥ 受取助成金	0	2,400,000	△2,400,000	
受取助成金	0	2,400,000	△2,400,000	
⑦ 雑収益	2,974,797	669,401	2,305,396	
受取利息収入	240	177	63	
雑収益	2,974,557	669,224	2,305,333	
経常収益計	218,692,058	236,018,199	△17,326,141	
(2) 経常費用				
① 事業費	214,311,504	228,859,972	△14,548,468	
役員報酬	1,774,808	1,796,045	△21,237	
給料手当	57,158,523	55,777,878	1,380,645	
賃金	8,246,660	9,109,859	△863,199	
賞与引当繰入額	3,752,816	3,890,157	△137,341	
退職給付費用	1,473,996	1,335,196	138,800	
福利厚生費	11,522,435	10,977,905	544,530	
報償費	327,500	1,537,316	△1,209,816	
会議費	0	34,000	△34,000	
旅費交通費	77,610	3,022,468	△2,944,858	
通信運搬費	1,002,229	963,774	38,455	
減価償却費	34,686,808	40,856,996	△6,170,188	
備品費	1,229,537	925,086	304,451	
消耗品費	5,192,402	8,258,344	△3,065,942	
修繕費	13,340,910	9,045,689	4,295,221	
印刷製本費	264,495	682,825	△418,330	
光熱水費	22,501,491	23,794,193	△1,292,702	
使用料及び賃借料	1,886,322	2,555,684	△669,362	
車両経費	2,744,645	2,854,383	△109,738	
保険料	1,356,599	859,709	496,890	

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
手数料	1,033,133	2,408,339	△1,375,206	
諸謝金	230,287	227,819	2,468	
交際費	2,000	60,226	△58,226	
食糧費	56,440	444,550	△388,110	
宣伝広告費	11,528,241	16,064,390	△4,536,149	
イベント費	2,619,609	5,212,056	△2,592,447	
委託料	12,564,044	14,009,999	△1,445,955	
原材料費	102,278	301,041	△198,763	
租税公課	10,709,319	10,248,069	461,250	
負担金	1,164,150	1,207,910	△43,760	
外注費	5,440,050	0	5,440,050	
雑費	322,167	398,066	△75,899	
② 管理費	10,857,432	11,151,547	△294,115	
役員報酬	2,624,605	2,796,164	△171,559	
給料手当	3,205,456	3,263,173	△57,717	
賞与引当繰入額	460,140	504,824	△44,684	
退職給付費用	134,242	121,509	12,733	
福利厚生費	1,040,747	1,019,137	21,610	
会議費	9,044	9,525	△481	
通信運搬費	23,000	18,000	5,000	
減価償却費	558,188	584,180	△25,992	
消耗品費	53,515	54,300	△785	
光熱水費	1,284,386	1,357,932	△73,546	
使用料及び賃借料	587,400	582,060	5,340	
保険料	73,518	39,562	33,956	
諸謝金	514,360	508,200	6,160	
租税公課	285,531	290,281	△4,750	
雑費	3,300	2,700	600	
経常費用計	225,168,936	240,011,519	△14,842,583	
当期経常増減額	△6,476,878	△3,993,320	△2,483,558	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	1	10	△9	
経常外費用計	1	10	△9	
当期経常外増減額	△1	△10	9	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△6,476,879	△3,993,330	△2,483,549	
一般正味財産期首残高	260,610,021	264,603,351	△3,993,330	
一般正味財産期末残高	254,133,142	260,610,021	△6,476,879	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金(指定)	42,000,000	14,000,000	28,000,000	
一般正味財産への振替額	33,696,243	21,040,533	12,655,710	
当期指定正味財産増減額	8,303,757	△7,040,533	15,344,290	
指定正味財産期首残高	223,868,282	230,908,815	△7,040,533	
指定正味財産期末残高	232,172,039	223,868,282	8,303,757	
III 正味財産期末残高	486,305,181	484,478,303	1,826,878	

令和2年度 正味財産増減計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

○ 会計区分表

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,000	0	1,000	
基本財産受取利息	1,000	0	1,000	
② 特定資産運用益	9,197	53	9,250	
特定資産受取利息	9,197	53	9,250	
③ 事業収益	66,689,725		66,689,725	
教育事業収入	120,600		120,600	
水族館管理運営事業収入	65,659,125		65,659,125	
体験料収入	910,000		910,000	
④ 受取会費	8,176,500		8,176,500	
個人会員会費収入	7,226,500		7,226,500	
法人会員会費収入	950,000		950,000	
⑤ 受取補助金等	130,496,911	10,343,875	140,840,786	
教育事業補助金収入	18,374,980		18,374,980	
水族館管理運営事業補助金収入	76,951,692		76,951,692	
管理費補助金収入		10,209,633	10,209,633	
特定資産取得補助金収入	1,473,996	134,242	1,608,238	
受取補助金等振替額	33,696,243		33,696,243	
⑦ 雑収益	2,974,797		2,974,797	
受取利息収入	240		240	
雑収益	2,974,557		2,974,557	
経常収益計	208,348,130	10,343,928	218,692,058	
(2) 経常費用				
① 事業費	214,311,504		214,311,504	
役員報酬	1,774,808		1,774,808	
給料手当	57,158,523		57,158,523	
賃金	8,246,660		8,246,660	
賞与引当繰入額	3,752,816		3,752,816	
退職給付費用	1,473,996		1,473,996	
福利厚生費	11,522,435		11,522,435	
報償費	327,500		327,500	
旅費交通費	77,610		77,610	
通信運搬費	1,002,229		1,002,229	
減価償却費	34,686,808		34,686,808	
備品費	1,229,537		1,229,537	
消耗品費	5,192,402		5,192,402	
修繕費	13,340,910		13,340,910	
印刷製本費	264,495		264,495	
光熱水費	22,501,491		22,501,491	
使用料及び賃借料	1,886,322		1,886,322	
車両経費	2,744,645		2,744,645	
保険料	1,356,599		1,356,599	

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計	備 考
手数料	1,033,133		1,033,133	
諸謝金	230,287		230,287	
交際費	2,000		2,000	
食糧費	56,440		56,440	
宣伝広告費	11,528,241		11,528,241	
イベント費	2,619,609		2,619,609	
委託料	12,564,044		12,564,044	
原材料費	102,278		102,278	
租税公課	10,709,319		10,709,319	
負担金	1,164,150		1,164,150	
外注費	5,440,050		5,440,050	
雑費	322,167		322,167	
② 管理費		10,857,432	10,857,432	
役員報酬		2,624,605	2,624,605	
給料手当		3,205,456	3,205,456	
賞与引当繰入額		460,140	460,140	
退職給付費用		134,242	134,242	
福利厚生費		1,040,747	1,040,747	
会議費		9,044	9,044	
通信運搬費		23,000	23,000	
減価償却費		558,188	558,188	
消耗品費		53,515	53,515	
光熱水費		1,284,386	1,284,386	
使用料及び賃借料		587,400	587,400	
保険料		73,518	73,518	
諸謝金		514,360	514,360	
租税公課		285,531	285,531	
雑費		3,300	3,300	
経常費用計	214,311,504	10,857,432	225,168,936	
当期経常増減額	△5,963,374	△513,504	△6,476,878	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	1	0	1	
経常外費用計	1	0	1	
当期経常外増減額	△1	0	△1	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△5,963,375	△513,504	△6,476,879	
一般正味財産期首残高	-	-	260,610,021	
一般正味財産期末残高	-	-	254,133,142	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金	42,000,000	0	42,000,000	
一般正味財産への振替額	33,696,243	0	33,696,243	
当期指定正味財産増減額	8,303,757	0	8,303,757	
指定正味財産期首残高	-	-	223,868,282	
指定正味財産期末残高	-	-	232,172,039	
III 正味財産期末残高	-	-	486,305,181	

Ⅲ 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 建物・建物附属設備・構築物・機械装置・車両運搬具・什器備品・地下観察護岸
固定資産の減価償却方法は法定償却方法による。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産は
リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上して
いる。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込処理方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
基本財産引当資産	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
(特定資産)				
建物	73,832,850	0	1,631,665	72,201,185
建物附属設備	43,167,386	0	5,982,976	37,184,410
構築物	36,512,141	0	7,302,426	29,209,715
什器備品	2,106,786	0	859,176	1,247,610
退職給付引当資産	12,500,829	1,608,238	167,854	13,941,213
減価償却引当資産	21,760,800	21,000,000	8,470,000	34,290,800
修繕料引当資産	38,388,319	21,000,000	9,450,000	49,938,319
小 計	228,269,111	43,608,238	33,864,097	238,013,252
合 計	238,269,111	43,608,238	33,864,097	248,013,252

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
(基本財産)				
基本財産引当資産	10,000,000	(10,000,000)	(0)	(0)
小 計	10,000,000	(10,000,000)	(0)	(0)
(特定資産)				
建物	72,201,185	(72,201,185)	(0)	(0)
建物附属設備	37,184,410	(37,184,410)	(0)	(0)
構築物	29,209,715	(29,209,715)	(0)	(0)
什器備品	1,247,610	(1,247,610)	(0)	(0)
退職給付引当資産	13,941,213	(0)	(0)	(13,941,213)
減価償却引当資産	34,290,800	(32,390,800)	(1,900,000)	(0)
修繕料引当資産	49,938,319	(49,938,319)	(0)	(0)
小 計	238,013,252	(222,172,039)	(1,900,000)	(13,941,213)
合 計	248,013,252	(232,172,039)	(1,900,000)	(13,941,213)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(特定資産)	81,583,258	9,382,073	72,201,185
建物附属設備(特定資産)	87,104,096	49,919,686	37,184,410
構築物(特定資産)	104,867,482	75,657,767	29,209,715
什器備品(特定資産)	47,128,314	45,880,704	1,247,610
特定資産計	320,683,150	180,840,230	139,842,920
建物(その他)	742,814,962	519,415,355	223,399,607
建物附属設備(その他)	293,294,314	278,253,546	15,040,768
構築物(その他)	12,572,850	11,718,797	854,053
機械装置(その他)	242,286,245	235,222,834	7,063,411
什器備品(その他)	38,484,636	31,910,925	6,573,711
地下観察護岸(その他)	100,929,561	97,901,672	3,027,889
リース資産(その他)	17,404,632	16,690,212	714,420
その他資産計	1,447,787,200	1,191,113,341	256,673,859
合 計	1,768,470,350	1,371,953,571	396,516,779

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
(補助金)						
教育事業補助金	千歳市	0	18,374,980	18,374,980	0	
水族館管理運営事業補助金	千歳市	0	76,883,000	76,883,000	0	
水族館管理運営事業補助金	北海道労働局	0	68,692	68,692	0	
水族館再整備事業補助金	千歳市	155,619,162	0	15,776,243	139,842,919	指定正味財産
管理費補助金	千歳市	0	10,209,633	10,209,633	0	
特定資産取得補助金	千歳市	58,249,119	42,000,000	17,920,000	82,329,119	指定正味財産
特定資産取得補助金(退職給付引当金分)	千歳市	11,997,128	1,608,238	167,854	13,437,512	固定負債
市内観光施設基盤強化事業補助金	千歳市	1	0	0	1	指定正味財産
合 計		225,865,410	149,144,543	139,400,402	235,609,551	

平成27年度から補助金の内訳を正味財産ベースに変更した。

水族館再整備事業補助金には、資産取得の為の特定資産取崩収入を含めている。

(平成26年度取崩 16,040,000円、平成27年度取崩 48,000,000円)

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上及び特定資産取崩による振替額	33,696,243
合 計	33,696,243

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金				
	北洋銀行千歳中央支店	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産	建物	73,832,850	0	1,631,665	72,201,185
	建物附属設備	43,167,386	0	5,982,976	37,184,410
	構築物	36,512,141	0	7,302,426	29,209,715
	什器備品	2,106,786	0	859,176	1,247,610
	退職給付引当資産	12,500,829	1,608,238	167,854	13,941,213
	減価償却引当資産	21,760,800	21,000,000	8,470,000	34,290,800
	修繕料引当資産	38,388,319	21,000,000	9,450,000	49,938,319
	特定資産計	228,269,111	43,608,238	33,864,097	238,013,252

2. 引当金の明細

賞与引当金

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,394,981	4,212,956	4,394,981	0	4,212,956

職員退職給付引当金

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
職員退職給付引当金	12,500,829	1,608,238	167,854	0	13,941,213

IV 財産目録

(令和3年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	83,309	
		現金釣り銭		950,000	
		売上現金		338,325	
			<現金計>	1,371,634	
	預金	普通預金			
		北海道銀行千歳支店	運転資金として	4,273,810	
		北央信用組合末広支店	運転資金として	468,239	
		北洋銀行千歳中央支店	運転資金として	31,695,640	
		北央信用組合千歳支店	運転資金として	4,533	
		北海道信用金庫千歳支店	運転資金として	159,258	
		<預金計>	36,601,480		
未収金 前払金	旅行代理店他17件	公益事業に供する入館料収入等の未収入分	1,178,846		
		次年度の公益事業の企画協賛金	20,000		
流動資産合計			39,171,960		
(固定資産)	基本財産	定期預金			
		北洋銀行千歳中央支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財源として使用	10,000,000	
	特定資産	建物	リニューアル 改修工事	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	72,201,185
			千歳市花園2丁目312番地		
		建物附属設備	リニューアル 空調換気設備他	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	10,058,161
			千歳市花園2丁目312番地		
			リニューアル 電気設備	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	10,810,253
			千歳市花園2丁目312番地		
			リニューアル 水槽配管工事	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	9,916,988
		千歳市花園2丁目312番地			
		リニューアル エレベーター工事	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	6,399,008	
		千歳市花園2丁目312番地			
				<建物附属設備計>	37,184,410
		構築物	リニューアル 水槽展示工事	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	29,209,715
		千歳市花園2丁目312番地			
		什器備品	リニューアル パネル他	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	16,147
			千歳市花園2丁目312番地		
	リニューアル ロビーチェア他		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	742,758	
	千歳市花園2丁目312番地				
	Wi-Fi設備設置工事		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	1	
	千歳市花園2丁目312番地				
	リニューアル パソコン・プロジェクター他		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	4	
	千歳市花園2丁目312番地				
	リニューアル 除湿器他		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	152,258	
	千歳市花園2丁目312番地				
	リニューアル 放送設備	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	336,442		
	千歳市花園2丁目312番地				
		<什器備品計>	1,247,610		
退職給付 引当資産	定期預金				
	北海道信用金庫千歳支店	従業員の退職金支払に備えたもの	13,941,213		
	普通預金				
	北洋銀行千歳中央支店	次年度以降の公益事業の設備投資のため	34,290,800		
	普通預金				
引当資産 修繕料引当 資産	北洋銀行千歳中央支店	公益事業の修繕のため	29,938,319		
	定期預金				
	北央信用組合末広支店	公益事業の修繕のため	20,000,000		
			<修繕料引当資産計>	49,938,319	
<<特定資産計>>			238,013,252		

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
その他の 固定資産	建物	水族館 建物本体(1棟) 2,981.672㎡ 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	208,878,330	
		泉沢飼育棟 (1棟) 218.4㎡ 千歳市泉沢1000番地7地先 物置等 (4棟) 千歳市花園2丁目312番地	管理目的使用に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	11,698,457 2,784,020	
			公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	38,800	
			<建物計>	223,399,607	
	建物附属設備	水族館 給排水電灯設備他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	15,040,761	
		泉沢飼育棟 電気・給排水設備 千歳市泉沢1000番地7地先	管理目的に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	4 3	
			<建物附属設備計>	15,040,768	
	構築物	水族館 展示水槽 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	1	
		泉沢飼育棟 飼育水槽他 (9台) 千歳市泉沢1000番地7地先	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	9	
		地下水井戸 (1台) 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	854,043	
			<構築物計>	854,053	
	機械装置	水族館 濾過機械配管装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	3	
		水族館 取水装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	5,805,702	
		水族館 動力計装設備 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	2	
		水族館 ボイラー・循環装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	987,109	
		水族館 展示水槽監視システム 千歳市花園2丁目312番地	管理目的使用に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	27,809 242,783	
		水族館 テレビモニター他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	3	
			<機械装置計>	7,063,411	
		什器備品	展示水槽他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	149,531
			物置冷蔵庫ポンプ他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	1,114,347
			サケ模型 (8台) 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	8
顕微鏡他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している		132,345		
サモン着ぐるみ 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している		2		
除雪機他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している		311,997		
パソコン他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している		3,209,450		
芳名板他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している		460,472		
電話主装置取替 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している		1,195,559		
	<什器備品計>		6,573,711		

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	地下観察護岸	千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	3,027,889
	リース資産	車いす用階段昇降機 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	714,420
	電話加入権	千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	290,984
	出資金	北央信用組合千歳支店 北海道信用金庫千歳支店	公益目的保有財産 公益目的保有財産	10,000 10,000
			<出資金計>	20,000
			<<その他の固定資産計>>	256,984,843
固定資産合計				504,998,095
資産合計				544,170,055
(流動負債)	未払金	(株)かなまる他92件	公益事業に供する消耗品購入等の未払い分	37,943,798
	前受金	JTB他6件	公益事業に供する入館料前受け分	85,739
	預り金	新さっぽろ年金事務所 千歳市 長沼町 恵庭市 札幌南税務署	役職員の社会保険料の預かり分 役職員の住民税の預かり分 役職員の住民税の預かり分 役職員の住民税の預かり分 役職員の源泉所得税の預かり分	645,749 181,800 10,500 21,300 107,399
			<預り金計>	966,748
	1年以内返済予定リース債務	日立キャピタル(株)	公益事業に供する車いす用階段昇降機	571,536
	賞与引当金	従業員に対するもの	従業員に対する賞与引当分	4,212,956
流動負債合計				43,780,777
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金	13,941,213
	リース債務	日立キャピタル(株)	公益事業に供する車いす用階段昇降機	142,884
固定負債合計				14,084,097
負債合計				57,864,874
正味財産				486,305,181
うち	一般正味財産			254,133,142
	指定正味財産			232,172,039

V 収支計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

○ 総括表

(単位:円)

大 科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計
中 科 目			
小 科 目			
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	1,000	0	1,000
② 特定資産運用収入	9,197	53	9,250
③ 事業収入	66,689,725	0	66,689,725
④ 会費収入	8,176,500	0	8,176,500
⑤ 補助金等収入	138,800,668	10,343,875	149,144,543
⑥ 雑収入	2,974,797	0	2,974,797
事業活動収入計 (A)	216,651,887	10,343,928	226,995,815
2 事業活動支出			
① 事業費支出	178,455,895	0	178,455,895
② 管理費支出	0	10,209,686	10,209,686
事業活動支出計 (B)	178,455,895	10,209,686	188,665,581
事業活動収支差額(A)－(B) (C)	38,195,992	134,242	38,330,234

(単位:円)

大 科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計	
				中 科 目
				小 科 目
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	18,087,854	0	18,087,854	
投資活動収入計(D)	18,087,854	0	18,087,854	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	43,473,996	134,242	43,608,238	
② 固定資産取得支出	11,176,000	0	11,176,000	
投資活動支出計(E)	54,649,996	134,242	54,784,238	
投資活動収支差額(D)-(E) (F)	△ 36,562,142	△ 134,242	△ 36,696,384	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計(G)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① その他の財務活動支出	1,849,176	0	1,849,176	
財務活動支出計(H)	1,849,176	0	1,849,176	
財務活動収支差額(G)-(H) (I)	△ 1,849,176	0	△ 1,849,176	
当期収支差額 (C)+(F)+(I) 【A】	△ 215,326	0	△ 215,326	
前期繰越収支差額 【B】	391,001	0	391,001	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	175,675	0	175,675	

V 収 支 計 算 書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

○ 公益目的事業会計

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
I 事業活動収支の部							
1 事業活動収入							
① 基本財産運用収入	1,000	0	0	1,000	1,000	0	
1 基本財産利息収入	1,000	0	0	1,000	1,000	0	
② 特定資産運用収入	2,000	7,000	0	9,000	9,197	△ 197	
1 特定資産利息収入	2,000	7,000	0	9,000	9,197	△ 197	
③ 事業収入	101,839,000	△ 36,495,000	0	65,344,000	66,689,725	△ 1,345,725	
1 教育事業収入	999,000	△ 666,000	0	333,000	120,600	212,400	
2 水族館管理運営 事業収入	100,140,000	△ 35,879,000	0	64,261,000	65,659,125	△ 1,398,125	
3 体験料収入	700,000	50,000	0	750,000	910,000	△ 160,000	
④ 会費収入	9,620,000	△ 1,770,000	0	7,850,000	8,176,500	△ 326,500	
1 個人会員会費収入	8,820,000	△ 1,900,000	0	6,920,000	7,226,500	△ 306,500	
2 法人会員会費収入	800,000	130,000	0	930,000	950,000	△ 20,000	
⑤ 補助金等収入	129,172,000	10,638,000	0	139,810,000	138,800,668	1,009,332	
1 教育事業補助金収入	22,316,000	△ 2,864,000	0	19,452,000	18,374,980	1,077,020	
2 水族館管理運営 事業補助金収入	63,381,000	13,502,000	0	76,883,000	76,951,692	△ 68,692	
4 特定資産取得 補助金収入	43,475,000		0	43,475,000	43,473,996	1,004	
⑥ 雑収入	531,000	2,400,000	0	2,931,000	2,974,797	△ 43,797	
1 運用財産利息収入	1,000	0	0	1,000	240	760	
2 雑収入	530,000	2,400,000	0	2,930,000	2,974,557	△ 44,557	
事業活動収入計(A)	241,165,000	△ 25,220,000	0	215,945,000	216,651,887	△ 706,887	

備	考
基本財産利息	
特定資産利息	
教育事業参加者負担金収入	
入館料収入等、有料入館者数 84,985 人	
個人会員 販売数 5,267名	
法人会員 販売数 95件	
特定資産取得支出充当	
運用財産利息	

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
2 事業活動支出							
① 事業費支出	207,280,000	△ 25,052,000	0	182,228,000	178,455,895	3,772,105	
1 教育事業費支出	23,315,000	△ 3,529,000	0	19,786,000	18,496,079	1,289,921	
役員報酬支出	444,000	0	0	444,000	443,702	298	
給料手当支出	14,018,000	0	0	14,018,000	13,668,440	349,560	
福利厚生費支出	2,502,000	0	0	2,502,000	2,426,682	75,318	
報償費支出	1,624,000	△ 1,115,000	0	509,000	327,500	181,500	
旅費交通費支出	127,000	△ 100,000	0	27,000	0	27,000	
通信運搬費支出	193,000	0	0	193,000	173,929	19,071	
消耗品費支出	988,000	△ 574,000	0	414,000	226,422	187,578	
印刷製本費支出	183,000	0	0	183,000	149,600	33,400	
光熱水費支出	42,000	△ 42,000	0	0	0	0	
使用料及び賃借料支出	979,000	△ 909,000	0	70,000	25,520	44,480	
車両経費支出	994,000	0	0	994,000	840,660	153,340	
保険料支出	162,000	0	0	162,000	26,957	135,043	
手数料支出	4,000	△ 4,000	0	0	0	0	
食糧費支出	654,000	△ 644,000	0	10,000	9,097	903	
原材料費支出	11,000	△ 11,000	0	0	0	0	
負担金支出	321,000	△ 130,000	0	191,000	175,150	15,850	
雑支出	69,000	0	0	69,000	2,420	66,580	
2 水族館管理運営事業費支出	183,965,000	△ 21,523,000	0	162,442,000	159,959,816	2,482,184	
役員報酬支出	1,332,000	0	0	1,332,000	1,331,106	894	
給料手当支出	48,433,000	△ 1,035,000	0	47,398,000	47,380,240	17,760	
賃金支出	9,436,000	△ 1,100,000	0	8,336,000	8,246,660	89,340	
退職給付支出	0	168,000	0	168,000	167,854	146	
福利厚生費支出	10,184,000	△ 931,000	0	9,253,000	9,095,753	157,247	

備	考
教育事業費支出の説明	
・人件費	16,538,824
職員 3人	
・車両リース等車両経費	840,660
・アクアリウムナイトツアー経費	10,610
・サケふるセミナー等経費	31,240
・ジュニア・シニアリーダー活動事業経費	76,845
・体験学習経費	22,025
・青少年育成推進員経費	326,510
・子ども会関係経費	323,874
・その他経費	325,491
水族館管理運営事業費支出の説明	
・人件費	66,221,613
職員 11人	48,711,346
臨時職員・パートタイマー 5人	8,246,660
退職金	167,854
福利厚生費	9,095,753

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
会議費支出	60,000	0	0	60,000	0	60,000	
旅費交通費支出	3,658,000	△ 3,562,000	0	96,000	77,610	18,390	
通信運搬費支出	1,088,000	△ 86,000	0	1,002,000	828,300	173,700	
備品費支出	0	1,234,000	0	1,234,000	1,229,537	4,463	
消耗品費支出	8,045,000	△ 2,873,000	0	5,172,000	4,965,980	206,020	
修繕費支出	15,223,000	△ 1,625,000	0	13,598,000	13,340,910	257,090	
印刷製本費支出	745,000	△ 600,000	0	145,000	114,895	30,105	
光熱水費支出	25,535,000	△ 2,860,000	0	22,675,000	22,501,491	173,509	
使用料及び賃借料支出	2,880,000	△ 930,000	0	1,950,000	1,860,802	89,198	
車両経費支出	2,402,000	△ 410,000	0	1,992,000	1,903,985	88,015	
保険料支出	1,856,000	△ 506,000	0	1,350,000	1,329,642	20,358	
手数料支出	2,438,000	△ 1,310,000	0	1,128,000	1,033,133	94,867	
諸謝金支出	321,000	△ 50,000	0	271,000	230,287	40,713	
交際費支出	100,000	△ 40,000	0	60,000	2,000	58,000	
食糧費支出	50,000	0	0	50,000	47,343	2,657	
宣伝広告費支出	15,479,000	△ 3,601,000	0	11,878,000	11,528,241	349,759	
イベント費支出	4,644,000	△ 1,962,000	0	2,682,000	2,619,609	62,391	
委託料支出	16,443,000	△ 3,566,000	0	12,877,000	12,564,044	312,956	
原材料費支出	330,000	△ 220,000	0	110,000	102,278	7,722	
租税公課支出	11,515,000	△ 758,000	0	10,757,000	10,709,319	47,681	
負担金支出	1,242,000	△ 242,000	0	1,000,000	989,000	11,000	
外注費支出	0	5,445,000	0	5,445,000	5,440,050	4,950	
雑支出	526,000	△ 103,000	0	423,000	319,747	103,253	
事業活動支出計(B)	207,280,000	△ 25,052,000	0	182,228,000	178,455,895	3,772,105	
事業活動収支差額(A)-(B) (C)	33,885,000	△ 168,000	0	33,717,000	38,195,992	△ 4,478,992	

備	考
水族館管理運営事業費支出の説明	
・施設維持管理経費	38,209,706
・宣伝活動経費	13,603,690
・租税公課	10,709,319
・クーポン券等手数料	1,033,133
・展示魚収集飼育経費	2,580,363
・入場券印刷経費	166,339
・車両リース等経費	1,903,985
・イベント開催経費	2,619,609
・電話郵便等通信費	734,466
・電気・機械設備等修繕費	13,340,910
・アイヌ事業外注費	5,440,050
・その他経費	3,396,633

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
Ⅱ 投資活動収支の部							
1 投資活動収入							
① 特定資産取崩収入	25,740,000	△ 2,956,000	0	22,784,000	18,087,854	4,696,146	
1 退職給付引当 資産取崩収入	0	168,000	0	168,000	167,854	146	
2 減価償却引当 資産取崩収入	14,300,000	△ 3,124,000	0	11,176,000	8,470,000	2,706,000	
3 修繕料引当 資産取崩収入	11,440,000	0	0	11,440,000	9,450,000	1,990,000	
投資活動収入計(D)	25,740,000	△ 2,956,000	0	22,784,000	18,087,854	4,696,146	
2 投資活動支出							
① 特定資産取得支出	43,475,000	0	0	43,475,000	43,473,996	1,004	
1 退職給付引当 資産取得支出	1,475,000	0	0	1,475,000	1,473,996	1,004	
2 減価償却引当 資産取得支出	21,000,000	0	0	21,000,000	21,000,000	0	
3 修繕料引当 資産取得支出	21,000,000	0	0	21,000,000	21,000,000	0	
② 固定資産取得支出	14,300,000	△ 3,124,000	0	11,176,000	11,176,000	0	
1 建物附属設備取得支出	11,000,000	△ 1,584,000	0	9,416,000	9,416,000	0	
2 機械装置取得支出	0	1,760,000	0	1,760,000	1,760,000	0	
3 什器・備品購入支出	3,300,000	△ 3,300,000	0	0	0	0	
投資活動支出計(E)	57,775,000	△ 3,124,000	0	54,651,000	54,649,996	1,004	
投資活動収支差額(D)-(E) (F)	△ 32,035,000	168,000	0	△ 31,867,000	△ 36,562,142	4,695,142	
Ⅲ 財務活動収支の部							
1 財務活動収入							
財務活動収入計(G)	0	0	0	0	0	0	
2 財務活動支出							
① 借入金返済支出	0	0	0	0	0	0	
1 借入金返済支出	0	0	0	0	0	0	
② その他の財務活動支出	1,850,000	0	0	1,850,000	1,849,176	824	
1 1年以内リース債務	1,850,000	0	0	1,850,000	1,849,176	824	
財務活動支出計(H)	1,850,000	0	0	1,850,000	1,849,176	824	
財務活動収支差額(G)-(H) (I)	△ 1,850,000	0	0	△ 1,850,000	△ 1,849,176	△ 824	
当期収支差額 (C) + (F) + (I) 【A】	0	0	0	0	△ 215,326	215,326	
前期繰越収支差額 【B】	0	0	0	0	391,001	△ 391,001	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	0	0	0	0	175,675	△ 175,675	

V 収支計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

○ 法人会計

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)
中 科 目						
小 科 目						
I 事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
② 特定資産運用収入	0	0	0	0	53	△ 53
1 特定資産利息収入	0	0	0	0	53	△ 53
⑤ 補助金等収入	11,455,000	△ 792,000	0	10,663,000	10,343,875	319,125
3 管理費補助金収入	11,320,000	△ 792,000	0	10,528,000	10,209,633	318,367
4 特定資産取得補助金収入	135,000	0	0	135,000	134,242	758
事業活動収入計(A)	11,455,000	△ 792,000	0	10,663,000	10,343,928	319,072
2 事業活動支出						
② 管理費支出	11,320,000	△ 792,000	0	10,528,000	10,209,686	318,314
1 一般管理費支出	11,320,000	△ 792,000	0	10,528,000	10,209,686	318,314
役員報酬支出	3,655,000	△ 712,000	0	2,943,000	2,866,812	76,188
給料手当支出	3,522,000	0	0	3,522,000	3,468,073	53,927
福利厚生費支出	1,043,000	0	0	1,043,000	1,040,747	2,253
会議費支出	20,000	0	0	20,000	9,044	10,956
通信運搬費支出	23,000	0	0	23,000	23,000	0
消耗品費支出	55,000	0	0	55,000	53,515	1,485
光熱水費支出	1,456,000	△ 56,000	0	1,400,000	1,284,386	115,614
使用料及び賃借料支出	588,000	0	0	588,000	587,400	600
保険料支出	98,000	△ 24,000	0	74,000	73,518	482
諸謝金支出	515,000	0	0	515,000	514,360	640
租税公課支出	332,000	0	0	332,000	285,531	46,469
雑支出	13,000	0	0	13,000	3,300	9,700
事業活動支出計(B)	11,320,000	△ 792,000	0	10,528,000	10,209,686	318,314
事業活動収支差額(A)-(B) (C)	135,000	0	0	135,000	134,242	758

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)	
							中 科 目
							小 科 目
II 投資活動収支の部							
1 投資活動収入							
投資活動収入計(D)	0	0	0	0	0	0	
2 投資活動支出							
① 特定資産取得支出	135,000	0	0	135,000	134,242	758	
1 退職給付引当 資産取得支出	135,000		0	135,000	134,242	758	
投資活動支出計(E)	135,000	0	0	135,000	134,242	758	
投資活動収支差額(D) - (E) (F)	△ 135,000	0	0	△ 135,000	△ 134,242	△ 758	
当期収支差額(C) + (F) 【A】	0	0	0	0	0	0	
前期繰越収支差額 【B】	0	0	0	0	0	0	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	0	0	0	0	0	0	

備 考

VI 収支計算書に対する注記

○ 総括

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、仮払金、未払金、前受金、預り金、仮受金を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	21,121,888	37,973,114
未収金	636,357	1,178,846
前払金	0	20,000
合 計	21,758,245	39,171,960
未払金	20,326,389	37,943,798
前受金	49,711	85,739
預り金	991,144	966,748
合 計	21,367,244	38,996,285
次期繰越収支差額	391,001	175,675


令和2年度監査報告書

公益財団法人千歳青少年教育財団

理事長 入口博美 殿

令和3年5月10日

公益財団法人千歳青少年教育財団

監 事 小泉義隆 

監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

参 考 资 料

(参考資料)

令和2年度 正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで
公益財団法人 千歳青少年教育財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計 (管理費)	内部取引 消 去	合 計 (A)	令和元年度 決 算(B)	増 減 (A-B)
	教育事業 (公1)	水族館事業 (公2)	共通					
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益	0	0	1,000	0	0	1,000	1,008	△ 8
基本財産受取利息			1,000	0	0	1,000	1,008	△ 8
② 特定資産運用益	499	8,698	0	53	0	9,250	6,016	3,234
特定資産受取利息	499	8,698	0	53	0	9,250	6,016	3,234
③ 事業収益	120,600	66,569,125	0	66,689,725	0	66,689,725	112,469,732	△ 45,780,007
教育事業収入	120,600	0	0	120,600	0	120,600	714,345	△ 593,745
水族館管理運営事業収入	0	65,659,125	0	65,659,125	0	65,659,125	110,840,887	△ 45,181,762
水族館管理運営事業収入	0	65,659,125	0	65,659,125	0	65,659,125	110,840,887	△ 45,181,762
④ 受取会費	0	910,000	0	910,000	0	910,000	914,500	△ 4,500
個人会員会費	0	8,176,500	0	8,176,500	0	8,176,500	9,335,000	△ 1,158,500
法人会員会費	0	7,226,500	0	7,226,500	0	7,226,500	8,195,000	△ 968,500
個人会員会費	0	950,000	0	950,000	0	950,000	1,140,000	△ 190,000
⑤ 受取補助金等	18,746,745	111,750,166	0	130,496,911	0	140,840,786	111,137,042	29,703,744
教育事業補助金収入	18,374,980	0	0	18,374,980	0	18,374,980	20,696,830	△ 2,321,850
水族館運営事業補助金収入	0	76,951,692	0	76,951,692	0	76,951,692	57,322,000	19,429,692
管理費補助金	0	0	0	0	0	0	10,438,679	△ 29,046
地方公共団体補助金(退職給付分)	371,765	1,102,231	0	1,473,996	0	1,608,238	1,439,000	169,238
受取補助金等振替額	0	33,696,243	0	33,696,243	0	33,696,243	21,040,533	12,655,710
⑥ 受取助成金	0	0	0	0	0	0	2,400,000	△ 2,400,000
受取助成金	0	0	0	0	0	0	2,400,000	△ 2,400,000
⑦ 雑収益	0	2,974,797	0	2,974,797	0	2,974,797	669,401	2,305,396
運用財産利息収入	0	240	0	240	0	240	177	63
雑収益	0	2,974,557	0	2,974,557	0	2,974,557	669,224	2,305,333
経常収益計	18,867,844	189,479,286	1,000	208,348,130	0	218,692,058	236,018,199	△ 17,326,141
(2) 経常費用								
① 事業費	18,991,105	195,320,399	0	214,311,504	0	214,311,504	228,859,972	△ 14,548,468
役員報酬	443,702	1,331,106	0	1,774,808	0	1,774,808	1,796,045	△ 21,237
給料手当	12,781,430	44,377,093	0	57,158,523	0	57,158,523	55,777,878	1,380,645
賞金	0	8,246,660	0	8,246,660	0	8,246,660	9,109,859	△ 863,199
賞与引当繰入額	850,105	2,902,711	0	3,752,816	0	3,752,816	3,890,157	△ 137,341
退職給付費用	371,765	1,102,231	0	1,473,996	0	1,473,996	1,335,196	138,800
福利厚生費	2,426,682	9,095,753	0	11,522,435	0	11,522,435	10,977,905	544,530
報償費	327,500	0	0	327,500	0	327,500	1,537,316	△ 1,209,816
会議費	0	0	0	0	0	0	34,000	△ 34,000
旅費交通費	0	77,610	0	77,610	0	77,610	3,022,468	△ 2,944,858
通信運搬費	173,929	828,300	0	1,002,229	0	1,002,229	963,774	38,455
減価償却費	160,166	34,526,642	0	34,686,808	0	34,686,808	40,856,996	△ 6,170,188
備品費	0	1,229,537	0	1,229,537	0	1,229,537	925,086	304,451
消耗品費	226,422	4,965,980	0	5,192,402	0	5,192,402	8,258,344	△ 3,065,942
修繕費	0	13,340,910	0	13,340,910	0	13,340,910	9,045,689	4,295,221
印刷製本費	149,600	114,895	0	264,495	0	264,495	682,825	△ 418,330
光熱水費	0	22,501,491	0	22,501,491	0	22,501,491	23,794,193	△ 1,292,702
使用材料及び賃借料	25,520	1,860,802	0	1,886,322	0	1,886,322	2,555,684	△ 669,362
車両経費	840,660	1,903,985	0	2,744,645	0	2,744,645	2,854,383	△ 109,738

科 目	公益目的事業会計			法人会計 (管理費)	内部取引 消 去	合 計 (A)	令和元年度 決 算(B)	増 減 (A-B)
	教育事業 (公1)	水族館事業 (公2)	共通					
保険料	26,957	1,329,642	0	1,356,599	0	1,356,599	859,709	496,890
手数料	0	1,033,133	0	1,033,133	0	1,033,133	2,408,339	△ 1,375,206
諸謝金	0	230,287	0	230,287	0	230,287	227,819	2,468
交際費	0	2,000	0	2,000	0	2,000	60,226	△ 58,226
食糧費	9,097	47,343	0	56,440	0	56,440	444,550	△ 388,110
広告宣伝費	0	11,528,241	0	11,528,241	0	11,528,241	16,064,390	△ 4,536,149
入会費	0	2,619,609	0	2,619,609	0	2,619,609	5,212,056	△ 2,592,447
委託料	0	12,564,044	0	12,564,044	0	12,564,044	14,009,999	△ 1,445,955
原材料費	0	102,278	0	102,278	0	102,278	301,041	△ 198,763
租税公課	0	10,709,319	0	10,709,319	0	10,709,319	10,248,069	461,250
負担金	175,150	989,000	0	1,164,150	0	1,164,150	1,207,910	△ 43,760
外注費	0	5,440,050	0	5,440,050	0	5,440,050	0	5,440,050
雑費	2,420	319,747	0	322,167	0	322,167	398,066	△ 75,899
②管理費								
役員報酬				10,857,432	0	10,857,432	11,151,547	△ 294,115
給料手当				2,624,605	0	2,624,605	2,796,164	△ 171,559
賞与引当繰入額				3,205,456	0	3,205,456	3,263,173	△ 57,717
退職給付費用				460,140	0	460,140	504,824	△ 44,684
福利厚生費				134,242	0	134,242	121,509	12,733
会議費				1,040,747	0	1,040,747	1,019,137	21,610
通信運搬費				9,044	0	9,044	9,525	△ 481
減価償却費				23,000	0	23,000	18,000	5,000
消耗品費				558,188	0	558,188	584,180	△ 25,992
光熱水費				53,515	0	53,515	54,300	△ 785
使用料及び賃借料				1,284,386	0	1,284,386	1,357,932	△ 73,546
保険料				587,400	0	587,400	582,060	5,340
諸謝金				73,518	0	73,518	39,562	33,956
租税公課				514,360	0	514,360	508,200	6,160
雑費				285,531	0	285,531	290,281	△ 4,750
経常費用計	18,991,105	195,320,399	0	214,311,504	0	225,168,936	240,011,519	△ 14,842,583
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 123,261	△ 5,841,113	1,000	△ 5,963,374	0	△ 6,476,878	△ 3,993,320	△ 2,483,558
当期経常増減額	△ 123,261	△ 5,841,113	1,000	△ 5,963,374	0	△ 6,476,878	△ 3,993,320	△ 2,483,558
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	1	0	1	0	1	10	△ 9
経常外費用計	0	1	0	1	0	1	10	△ 9
当期経常外増減額	0	△ 1	0	△ 1	0	△ 1	△ 10	9
他会計振替額								0
当期一般正味財産増減額	△ 123,261	△ 5,841,114	1,000	△ 5,963,375	0	△ 6,476,879	△ 3,993,330	△ 2,483,549
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	0	260,610,021	264,603,351	△ 3,993,330
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	0	254,133,142	260,610,021	△ 6,476,879
II 指定正味財産増減の部								
受取補助金等								
受取地方公共団体補助金	0	42,000,000	0	42,000,000	0	42,000,000	14,000,000	28,000,000
一般正味財産への振替額	0	33,696,243	0	33,696,243	0	33,696,243	21,040,533	12,655,710
当期指定正味財産増減額	0	8,303,757	0	8,303,757	0	8,303,757	△ 7,040,533	15,344,290
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	0	223,868,282	230,908,815	△ 7,040,533
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	0	232,172,039	223,868,282	8,303,757
III 正味財産期末残高	-	-	-	-	0	486,305,181	484,478,303	1,826,878